

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital 月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~はカタキキホドの@の上の^をshiftで変換)
携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

今年のインフルエンザ

インフルエンザ感染症がみられるようになってきました。今回は今年のインフルエンザの状況についてお話をさせていただきます。

流行状況について
十二月上旬現在、インフルエンザと診断されているかたがみられるようになってきました。例年に比べ一カ月以上、去年に比べれば二カ月以上早い感染状況と思われます。現時点ですべてA型が検出されているようです。騒がれているような新型インフルエンザ(鳥インフルエンザ)ではありません。

診断キット?
診断キットはあるものすべての発熱の方に検査をするわけではなく、感染状況(学校、幼稚園および保育所などの感染状況)を前提に、症状の強さを考慮して診断キットを使用し確定診断を行うこととなります。判断が困難なときには念のため検査をすることがあります。

お薬は?
現在のところ以前のように診断キットが不足することはないようです。

タミフルというインフルエンザ用のお薬が主体となります。前月号でもお話ししましたがタミフルの副作用が報道されています。このお薬を内服した後に異常行動などにより死亡した方が日本やアメリカから十数人報告されているというものです。しかしタミフルを内服したから死亡したのか、内服していなかったら死亡せずにいたかはわからないというのが結論のようです。日本では1500万人以上の方がタミフルを内服しており、万が一、すべてタミフルのために死亡したと仮定しても百万人に一人の確率となります。一方脳炎の発生率は一万人から十万人に一人といわれています。現状ではタミフルを服用するほうが服用しない場合よりも死亡する確率は大幅に低いという判断であろうと思います。また一歳未満の乳児につきまして過去に混乱があったものの現時点ではタミフルを服用するメリットが大きいといわれており、保護者の方の納得がいただければ投与を行っていく予定です。現時点ではお薬が不足することはない模様です(流行の規模によるので断定はできません)

注意することは?

インフルエンザの予防接種は接種してからすぐ効果があるのではなく、2週間程度経過してから効果があるとされています。接種が終了していない方は早急に接種するようにしましょう。

そのうえで感染情報に注意して下さい。学校、幼稚園、保育所など(保護者なら会社)にインフルエンザの患者さんがいないかどうか絶えず確認するようにして下さい。また地域的な情報もインターネットなどを通じて確認しておきましょう。(すべて当院のホームページからリンク可能です)

<http://influenza.eian.ne.jp/> (日本全国のインフルエンザ情報)

<http://www.12.ocn.ne.jp/~kansen/> (和歌山市のインフルエンザ情報)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko/> (和歌山県のインフルエンザ情報)

<http://www.iph.pref.osaka.jp/infection/> (大阪府のインフルエンザ情報)

流行が確認されている地域で突然の高熱がでた場合は検査を受けたほうがよいでしょう。



今月の顔
礼菜ちゃん
おおきくなったね。



QRコード読み取り機能付カメラ携帯にて読み込んでいただければ、現在の診察状況や予約順をとっていただくことが可能です。(カメラを起動してメニューからバーコード読み込みを選択し撮影して下さい)

麻疹と風疹の予防接種についてのお知らせ

2006年4月1日から麻疹と風疹の予防接種が変更されます。

麻疹と風疹の混合ワクチンが開発され接種可能となり一回接種となるためです。この注射を受けたかたは就学前にもう一度この予防接種を受けることとなります。注意しなくてはいけないのは風疹および麻疹の単独の予防接種が今後自費接種になるということで、どちらか一方のみを接種しているものももう一方を接種していないかたの公費負担がなくなります。(つまり接種するのにお金がかかるようになるということです) いままで麻疹および

風疹の予防接種は7歳6カ月までは可能でしたが、接種し忘れていた場合は2006年3月末日までに接種を終了させて下さい。

この機会にもう一度母子手帳を確認されることをお勧めします。

また2005年1月から3月生まれの方では4月の混合ワクチンをまっすぐ接種するほうがいいのか、一歳を越えれば単独ワクチンを接種するほうがいいのか、混乱しているようです。小児科医の間でも意見は分かれていて結論はできていませんが、この出生日にあたる方は主治医と事前に相談しておきましょう。(当院では一歳を越えれば4月を待たずに単独ワクチンを接種する方針です)

月山病院小児科からのお知らせ

12月23日(金=天皇誕生日)は9-12時で時間外対応させていただきます
1月9日(月=成人の日)は9-12時で時間外対応させていただきます

年末年始のお知らせ

- 12月27日(火) 9時-12時(通常とうり、夜診はありません)
- 12月28日(水) 10時-13時(予防接種はありません)
- 12月29日(木) 9時-12時
- 12月30日(金) 16時-19時(開始、終了とも変更しています)
- 12月31日(土) 9時-12時
- 1月1日(日) 16時-19時(開始、終了とも変更しています)
- 1月2日(月) 終日休診
- 1月3日(火) 終日休診
- 1月4日(水) 終日休診
- 1月5日(木) 9時-12時(夜診はありません)
- 1月6日(金) 10時-13時(予防接種はありません)
- 1月7日(土) 通常とうり
- 1月8日(日) 通常とうり